

ほっと

現状・課題を共有し、一緒に解決へ！ なかがまが堺市障害福祉部と「懇談会」を開催

2月27日（火）、「障害当事者と堺市障害福祉部との懇談会」が開かれ、参加させて頂きました。

事前に9項目の要望書を提出して文書回答を頂いていたので、当日は当事者自らが直接訴えて、相互理解を共有し、今後の施策に生かして貰おうというものです。

堺市からは障害福祉推進課、障害支援課、障害福祉サービス課の各課長以下の担当職員の方々が出席され、なかがまの訴えに真剣に耳を傾けながら一つ一つ丁寧に答えておられました。



手づくりのパネルを掲げて訴えるなかがま



手づくりのパネルを掲げて訴えるなかがま

9項目の案情を訴え

なかがまが要望し訴えたのは、以下9項目です。

- ①障害福祉サービス利用、医療の拡充について
- ②暮らしの場やホームを増やして下さい
- ③ショートステイを増やして、利用しやすくして下さい
- ④ガイドヘルパーをもっと利用したい。外出を増やして下さい
- ⑤もっと職員を増やして下さい
- ⑥自力通所のなかがまの交通費負担について考えて下さい
- ⑦堺市を障がいの重いな

かまも安心して暮らせるバリアフリーな街にして下さい

⑧仕事の応援をして下さい

⑨これから障がいの者と懇談会を行って下さい

なかがまみんなで準備 パネルにして説明！

堺市の担当者に分かってもらおうと、それぞれの項目ごとに模造紙でパネル的にまとめて、なかがまが説明していきます。

パネルにするにあたって、なかがまが集まって相談してまとめたり、作業所内でアンケートをとった上でまとめたりと、み



懇談会会場の参加者

家族の願いを実現するために身近で活動します

NPO法人 ほっと

第18回定期総会 開催のご案内

日時：6月14日（金）10時30分～11時50分

場所：堺市総合福祉会館 大研修室

会員以外の方も参加できますので、成年後見制度に関心のある方は、是非ご参加ください。



んなで準備したそうです。なかがまの訴えには、率直な思いが詰まっていることが伝わってきます。

対応した堺市の担当者も、「今ここで、『その通りします』とは言えませんが、実情を直接聞けたことは良かった。訴えは受け止めさせて頂く」と一つ一つ丁寧に対応しておられました。

今後も期待される「懇談会」

最後に、「今後も懇談会を！」との要望についても、堺市の担当者は「障がい当事者から直接聞くことは、施策の推進に必要不可欠だと考えています。障がい当事者の現状・課題を共有し、誰もが暮らしやすいまち・堺にするために、一緒に解決していこうとの「懇談会」は、今後も期待です。」

中途障がい者・私の元気は

“作業所で一緒に仕事することが元気の源”

“やりたいことを続けたい、何とかなる” 今は、市民劇団の代表に！

**脳梗塞で障害が残った
当時は、受け入れがたく…**
大阪さんは、「20年間ト
ラックの運転手として頑張っ
ていたが、11年前に脳梗塞
で倒れ、一命は取りとめた
ものの障害が残りました。
当時は、「まさか自分が？」
となかなか受け入れられず、
しんどかったです。

しかし、ここ（作業所）
に来て、仲間と一緒に仕事
してから元気になるました。
ここでの作業は、箱詰めの
緩衝材になるものを作って
います」と笑顔で話されて
いました。

堺障連協が1月11日に開
催した「対市懇談会」で訴
えられた中途障害者の「実
情」と思い、をもう少しお聞
きしたいと友の会共同作業
所を訪れました。



対応して頂いた大阪さんと堺さん

最近、「大阪の看護学校
に行つて、自分の歩みや実
情を話しました。はじめは
嫌やったけど、学生さんの
力になるのならばと思つて
行きました。自分のことを
話していたら、涙が出てし
まいました。聞いていた学
生さんも一緒に泣いておら
れました。何かの力になれ
ばうれしいです」と語つて
おられました。

自転車事故で大ケガ 高次脳機能障害に

堺さんは、まるで「宝塚
ジェンヌ」みたいなおしや
れが様になっている方。聞
けば、プロのダンサーだつ
たとのこと。

この作業所では、三角巾
を折り畳んで袋詰めをする
作業を担当しておられます。
「5年前に自転車事故で
電柱にぶつかり、転倒して
頭を強打し、頭蓋骨を損傷
する大ケガをしました。生
死をさまよいながらも奇跡
的に回復し、翌年には退院。
車イスから降りたら直ぐに
立つて歩き出すことが出来



舞台上立つ堺さん

ました。レッスンの鏡を
見たら、ダンサーの性分で
しょうか、踊り出していま
した。これには、周りの人
たちもビックリしてしまし
た」との事。

何とかなる！と舞台に 今は、市民劇団の代表

「やりたいことを続けたい、何
とかなると思います。舞台に
も立てるし、踊れます。昨
年12月に、自転車事故から
現在までのことを物語にし
たダンスを踊りました」と
語っておられました。「舞
台で見られる喜び、びしつ
とキメた時の感動、快感が
ある」とも。高次脳機能障
害に向き合いながらも、も
のすごく前向き。今は、堺
国際市民劇団の代表を務め
ておられます。

同じような人たちに 勇気づけたいと「教室」を

来月1月劇団公演への出
演者募集も兼ねて、この春
から「やってみよう教室」
（左記）を開催されるとの
こと。「自分を通じて、同
じような人たちに勇気づけ
たい」。障がいの有無にか
かわらず、「やってみよう」



sakai ARTeation 2023 奨励賞作品 鶴田 浩さん

やってみよう教室

- 2回目：6月23日（日）14時～16時
- 3回目：9月21日（日）14時～16時
- ◆会場：堺市総合福祉会館5階大会議室
- ◆料金：500円（1回）
- ◆申込：sksg2019@gmail.com
- ◆企画：堺国際市民劇団

年ほ 金相談会

年金の請求・更新手続き 年金の額面改定請求等

- 毎週金曜日開催（13時～15時）
（会員のほか、000円、会員外は、000円）
事前に電話での予約をお願いします。
マスクの着用もお忘れなくね。

☎ 072-228-3011

と思つたら、まず来てく
ださい！と呼びかけておら
れます。
「今は、すべて自費」だ
とのこと。公的支援が期待
されます。